

2024/06/26

秋高連第 10 回「ふるさと訪問・県央編」の記録

記録 熊谷和夫

実施月日：2024 年 6 月 20 日（木）～21 日（金） 一泊二日

宿泊地：鳥海猿倉温泉「ホテルフォレスタ鳥海」 電話 0184-58-2888

住所〒015-0512 秋田県由利本荘市鳥海町猿倉字奥山前 8-45

6 月 20 日快晴の下、訪問団一行 40 名羽後本荘駅にて長瀬良市会長の挨拶で高らかに結団式を宣言、鳥海観光バスにて最初の訪問先由利本荘市役所に向かいました。

湊市長公務外出で不在、三森副市長以下職員の歓迎を受けました。その後由利工業高校を訪問、田口康校長以下職員の歓迎を受けました。昭和 37 年開学、校訓は自律・創造・誠実。今回の一行に柴田健蔵さん、千葉俊市さん、木内康次さんの三名 OB として参加。三名からそれぞれ在学中当時の思い出話が披露され緊張の雰囲気が一気に和みました。次に西目高校を訪問、関谷校長以下職員そして同窓会新志芽会の歓迎を受けました。昭和 17 年開学、校訓は自彊不息（じきょうやまず）令和 4 年創立 80 周年挙行。またカメラマン初瀬武美さんより鳥海山額入写真と鳥海山麓旅情 CD を訪問団記念としていただきました。今回の一行に金森幸二さん、伊藤良三さん、佐々木正人さんの三名 OB として参加。次に、にかほ市 TDK 歴史みらい館を見学、1935 年「フェライト」を世界で初めて工業化する事を目指して齋藤憲三氏によって創業。憲三氏の胸像が玄関脇で見守

っていました。続いて象潟道の駅「ねむの丘」に立ち寄り暫しの休憩と特産物等
買い物を楽しみました。ここにふるさと訪問団一行バスを待つ人がいました。小
中学を同じ教室で学んだ級友です。「きさかたの雨や西施がねぶの花」、象潟に嫁
いで行った彼の方は今芭蕉の句に重ね合わさります。そして鳥海グリーンライ
ンを通り一路宿泊地ホテルフォレスト鳥海へ。ホテル関係者より盛大なる歓迎
を受けました。18:00より懇親会始まりました。それに先立ちJA理事三浦カズ
子氏による故郷の農業、「むかしと今と未来」と題してのスピーチがありました。
懇親会は和やかに進行していきました。宿泊地懇親会会場が地元矢島・鳥海とい
うことで矢島高校同窓会から4名（佐藤俊弘会長、豊島憲一副支部長、滝野由紀
夫副支部長兼前矢島総合支所長、相庭裕之監事兼現矢島総合支所長）が歓迎飛
び入り参加してくれました。そして郷土の民俗芸能公演、「本海獅子舞八木山講
中」と「天神あやとり保存会」です。1、祓い獅子では私たち一行の家内安全、
健康祈願のお祓いを受けました。2、天神あやとりでは、あや棒の巧みな繰り合
わせと笹子小原節を披露していただきました。3、曾我兄弟では、代表的な演目
仇討ちの立ち回りに痺れました。二次会にも22名が参集大いに呑み語り賑わ
いました。

二日目

8:30 ホテル出発、二日目はバス二台に分乗（道路事情により）、鳥海山麓観光

です。一台は、法体の滝→鳥海山五合目、もう一方は鳥海山五合目→法体の滝とコースは分かれるも、そのあと鳥海ダム工事現場で合流しました。鳥海ダムは昭和 45 年予備調査着手から始まり令和 2 年 3 月転流工、付替道路着手で本格化、事業費約 1,990 億円、工期令和 14 年度の予定だそうです。私が注目したことは、工事とは直接関係がないと思われた展望台で独り環境の変化を記録する女性仕事人がいました。鳥の往来渡り鳥の生態調査の一環だとの話に聞き入ってしまいました。昼食はフォレスト鳥海に戻りお弁当で美味しくいただきました。その昼食中、前日見学中止を余儀なくしてしまった元滝伏流水現場で「待っていたのに～」と恨み節を交え現われた高橋様には大変申し訳なく恐縮しました。続いて民俗芸能伝承館「まいーれ」です。滞在時間に追われ途中で退館しましたが前夜披露番楽の伝承映像を拝見しました。隣接のお土産コーナー「菜らんど」に立ち寄り各自それぞれ思い思いに家族友人にお土産を買い求めていました。鳥海町を離れ最終地矢島町に入りました。矢島高校に着いたのが予定時間から遅れること 20 分、13 時 50 分頃でした。藤原淳校長以下職員そして前夜懇親会参加の 4 名も姿を見せての歓迎を受けました。校訓「不憤不啓」(憤せざれば啓せず・・論語より抜粋)。令和 8 年には創立 100 周年を迎えます。資料として生徒らが制作に関わった労作「鳥海山・飛島ジオパークすごろく」を記念にいただきました。また体育館で今回参加の 6 名(鈴木茂、松田淳、高木正子、伊藤節

子、遠山みな子、熊谷和夫)で校歌を合唱し在校当時に想いを馳せました。いよいよ旅も終わりに近づきました。矢島駅側に建つ天寿酒造にバスは到着しました。店主の案内を受け利き酒コーナーやお土産買いで時間はあっという間に過ぎてしまいました。やがて終点地矢島駅です。無事二日間恙なく過ごせたことの安堵を込めて長瀬良市会長の挨拶で解散式を済ませました。矢島駅の顔「まつ子さん」に迎えられそして 15 時 40 分発、二両編成の内一両を貸切りました。「まつ子さん」、駅職員そして“由利高原鉄道・乗ろう会”代表幹事、畑澤富美夫さんらに見送られ惜しまれつつ矢島駅を後にしました。・・・・・・終わり。

第 10 回ふるさと訪問団

幹事長 柴田 健蔵<由利工業高校>

副幹事長 松田 淳<矢島高校>

幹事 金森 幸二<西目高校>

会計 熊谷 和夫<矢島高校>

第10回ふるさと訪問は田利本荘市にかほ市地域で
参加者は40名の参加で実施致しました。

早朝のこまちノ号に乗り遅れやドクキマンとされる方も
無く出発できました。二日間晴天に恵まれ駆け足
でしたが雄大な秀麗無比なる鳥海山も多方面
から拝見できました。懇親会の余興では鳥海の
伝統芸能の柳子舞、番楽や天神あやとりも
講中の皆様にご披露して頂き400年続く伝統芸能
を鑑賞し堪能できました。また継続は力なりです。
矢島高校訪問では小中一高一体型校舎は
少子化の中で地域の活性化と一貫教育が継続できる
モデル校舎になることを期待してあります。

今回は訪問団の安全安心と考慮して保健師の
遠山須子さんに二日間同行していただきましたが
活躍の場もなく杞憂に終えることがあったのが
一番良かったかと思っております。

彼女いわく「東京の人はなんでも若々しく生き生きして
歩く速さには驚かされました」とコメントありました。

参加者の皆様には記念として別途

ミニアルバムも郵送させていただきます。

ご家族様にも回覧して頂きますと幸いです。

皆様のご協力のもと怪我もなく無事に

楽しく有意義な訪問になりましたのはと

自負しております。

幹事一同厚く御礼申し上げます。

お身体に留意されまして来年も

元気に参加できましますようご祈念

致しております。

そして秋高連の活動も盛り上げて

まいりましよう。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます

乱筆 乱文主観ありを失礼しました。

ふるさと 訪問団幹事

柴田健蔵記

令和六年七月吉日